

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 12 月 16 日作成)

小委員会名	クールルーフ評価小委員会	主 査 名：近藤 靖史 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (都市環境・都市設備運営委員会)	委員長名：井上 勝夫 主 査 名：渡辺 浩文
設 置 期 間	2005 年 4 月 ～ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・都市ヒートアイランド対策としての屋上緑化，高反射率塗料，保水性建材などの対策技術の適切な選択に関する議論を行い，建築学会としての方向性（提言）を示す。	
委員構成 (委員名（所属）)	委員公募の有無：有	
	近藤靖史（武蔵工業大学），足永靖信（建築研究所），岡本幹太郎（日本設計），芝池英樹（京都工芸繊維大学），竹林英樹（神戸大学），並木裕（大成建設），成田健一（日本工業大学），鳴海大典（大阪大学），西岡真稔（大阪市立大学），橋田祥子（明治大学），梅干野晁（東京工業大学），松尾陽，三坂育正（竹中工務店），持田灯（東北大学），森山正和（神戸大学）	
設置 WG (WG 名：目的)	クールルーフ適正利用ガイド WG：一般人にも判りやすく，クールルーフ化すべきかどうかを判断できる材料を整理し，提供する。	
2008 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回（ただし，WG を 5 回開催）
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. クールルーフの適正な普及に向けたシンポジウム 参加者数 65 名 (配布資料：シンポジウム講演集，クールルーフの良い事例集)
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. シンポジウムにおいてクールルーフに関する研究成果が整理して報告された 2. 適正な普及に向けて，整理表，事例集，評価方法の原案が作成され，シンポジウムで紹介された。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 整理表，事例集，評価ツールについては原案作成に至ったが，公表に向けては検討課題（方法，許可など）が残っている。 2. 評価方法・測定方法については更なる検討が必要である。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学本委員会用 自己評価欄

2008 年度 小委員会活動 自己評価

(最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>都市ヒートアイランド対策としてのクールルーフに関して、従来行われている調査結果、測定結果などの研究成果を持ちより、これまでの成果及び問題点を整理した。</p> <p>海外の関連分野の研究事例、実施事例、学会規準などについて調査検討を行った。</p> <p>クールルーフに関連する材料メーカー等の関係者に対して、製品開発や市場の現状についてヒアリング調査を行った。</p> <p>クールルーフに関連する行政の取り組みに関して情報収集を行った。</p> <p>クールルーフ及び関連する手法について、環境への効果、性能評価の方法などを検討した。</p> <p>クールルーフ適正利用ガイドWGにおいて検討を行った「都市の表面性状とヒートアイランド緩和効果の整理表」、「良い事例集」、「簡易評価ツール」に関しては、検討課題も残されているが、クールルーフの適正な普及に向けたシンポジウムにおいて紹介を行い、本小委員会からの提案として、この分野に関する建築学会としての方向性を示すことが出来たと考えている。なお、残された課題については、更に2年をかけて取り組む予定である。</p>			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。